



## Broaden your horizons③① ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。私はわんぱく相撲2級審判員なる資格をもちております。今年度、第30回わんぱく相撲大会の実行委員長を仰せつかりました。相撲協会の相次ぐ不祥事に、わんぱく相撲大会を開催するかどうかから議論

になりましたが、子どもたちに罪はないと、開催することにしました。子どもたちが安全に自分の可能性を信じ、思い切り力を出し、思い出に残る1日にするため、開催前2カ月間は徹夜続き……泣。

当日は大阪府立体育会館で、参加者の子ども1,300人、大人も合わせると来場者5,000人を超える大会となりました。平松市長にもご挨拶に来ていただき、昼休みには体操のメダリスト池谷幸雄さんに、夢を持つ大切さ、その夢の実現のために努力することの素晴らしさを語っていただき、オリンピックを目指す子どもたちとともにパフォーマンスを見せていただきました。会場は1日中盛り上がりました。

相撲という単純な競技の中に、たくさんのドラマがありました。初出場の子からこの日のために1年間練習をしてきた子。1回戦はBMIから対戦相手を決めましたが、勝ち残っていくと、体格差は関係ありません。1回戦で負けて大泣きする子、投げ技で勝ったのに「投げてごめん～」と泣いちゃう子。見ている側にも力が入ります。

当日は「被災地の子ども達に笑顔を!」プロジェクトとして、わんぱく相撲参加者に読まなくなった絵本に応援メッセージを書いて持ってきてくださいとお願いしました。読まなくなった絵本で子どもたちに笑顔を、また応援メッセージで元気を与えられたらと思ったからです。どれだけの絵本が集まるのか不安でした。大会前日に思い立ってプレスリリースなるものをしました。明日良かったら見に来てくださいと報道局に連絡するのですが、やり方もわからず、しかも、前日。プレスリリースは通常1カ月前ですよ? と言われながらも情熱と行動力だけで動いてみました。フタを開けてみると、1,000冊もの絵本が集まりました。共同通信社の方も来てくださり、子どもたちのがんばる姿と子どもたちの善意を取材し、新聞の1面に掲載してくれました。子どもたちの笑顔というものは未来の希望であると改めて思いました。